

科目区分	専門基礎分野	単位数・時間数	1単位・30時間	開講時期	1年・前期
授業科目名	解剖生理学Ⅲ（骨格系・筋系・神経系・感覚器系）			授業形態	講義
担当教員	高本 考一		実務経験		
授業概要	疾病の成り立ちと回復の促進へ繋ぐ科目として、人間が生きてするためにバランスよく営まれている生命維持との関連や身体反応の出現のメカニズムの基礎を理解する。				
学習目的	人体を構成する各器官の基本的な構造（形態）と主なはたらき（機能）を理解する。				
到達目標	1. 人体各部位・器官の名称と、構造の特徴を説明できる。 2. 各器官のはたらきを専門用語を用いて具体的に説明できる。				
授業内容	1・2 骨格とはどのようなものか 3・4 骨の連結 5・6 骨格筋 7・8 体幹の骨格と筋 9・10 上肢の骨格と筋 下肢の骨格と筋 11・12 頭頸部の骨格と筋 13・14 筋の収縮 運動と代謝 15・16 神経系の構造と機能 脊髄と脳 17・18 脊髄神経と脳神経 運動機能と下行伝導路 19・20 感覚機能 体性感覚と 上行伝導路 21・22 眼の構造と視覚 耳の構造と聴覚・平衡覚 味覚と嗅覚 23・24 痛み 脳の統合機能 25・26 皮膚の構造と機能 生体の防御機構 27・28 体温とその調節 29・30 体表からみた人体の構造				
評価方法	試験、学習への取り組みを総合的に評価する。				
教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 人体の構造と機能1 第11版第3刷 医学書院 2025				
参考図書 等					
備考					